

第七號

保存期限 永久
決裁指定 局長
決行指定

房官臣大		課局務主		大臣委		件名	番受	政務次官 參與官 同付
了結	領受	出提	領受	番號	番號			
昭和 年	昭和 年九月五日	昭和 年九月五日	昭和 年	第 一 四 號	局長 主務	第十六師團諸部隊現狀視察ニ關スル件	第二六二五	決行決裁後 回覽課名
					次官 委			
(決行決裁後 回覽)		導 連		局長 主務		兵器局銃砲課		陸軍
局長		局長		副官 高級		參與官		
長課		長課		主務副官 官房御用掛		警配官		陸軍
				主務課員		審案 書記者		

檢査檢閱
檢査檢閱

陸普 副官ヨリ技術本部総務部長へ通牒

別紙要領ニ依リ第十六師團諸部隊ノ歸還兵器ノ現状ヲ視察
シ其ノ状況ヲ視察後二週向以内ニ報告セラレ度依命通
牒ス

陸普第五六四七號 昭和十四年九月六日

副官ヨリ第十六師團參謀長へ通牒

首題ノ件ニ関シ別紙ノ通陸軍技術本部ニ通牒セシニ付
之カ實施ニ對シ便宜ヲ與ヘラレ度依命通牒ス

陸普第五六四七號 昭和十四年九月六日

昭和十四年九月六日

第十六師團諸部隊兵器現狀視察要領

第一 視察ノ目的

第十六師團諸部隊ノ内地歸還後復舊整理前ニ於ケル兵器ノ現狀ヲ視察シ
應急復舊ニ對スル資料ヲ得ルト共ニ今次事變ノ兵器ニ及セル影響ト實積
トヲ探究研討シテ制式、製造、採用檢査及取扱保存ノ關係事項等ノ改善
殊ニ一層之カ戰時化ニ要スル資料ヲ蒐集シ且取扱保存ニ關シ所要ノ指導
ヲ行ヒ以テ兵器整備ノ適正ト取扱保存ノ向上トヲ期スルヲ目的トス

第二 視察部隊及期日竝ニ編成

視察部隊及期日竝ニ視察官ノ編成ハ附表ノ如シ

第三 實施ノ要領

左ノ要領ニ依リ實施シ視察目的ノ達成ニ努ム

一 視察兵器

1. 各部隊 革具 麻製品 輜重車輛

歩兵隊 右ノ外輕、重機關銃（含屬品、豫備品）及小銃 但シ小銃

ハ廢品ト區分セルモノノミトス

砲兵隊 第一項ノ外野砲及十榴（含屬品、豫備品）

兵器部 第一項ノ外彈藥ノ一部

2. 其ノ他ノ兵器ハ特ニ部隊ヨリノ希望アルモノノ外視察セス

ニ實施ノ要領

1. 應急復舊ニ關シテハ主トシテ動員用ニ充當シ得ヘキ程度ノ資料ヲ蒐集スルト共ニ動員兵器ノ程度低下防止ノ爲必要トスル處置ニ關シ意見ヲ述フ

2. 今次專變ノ兵器ニ及セル影響ト實積ニ關スル探究研討ハ主トシテ兵器ノ現状及各部隊ノ意見ニ基キ實施ス

3. 兵器取扱保存ニ關スル指導ハ兵器ノ現状及各部隊ノ意見ニ基キ所要ノ指示又ハ指導ヲ行フ

4. 以上實施ノ爲兵器ニ關スル意見ハ努メテ蒐集提出スル如ク希望ス

5. 各部隊ニ於ケル視察實施ハ概ネ左ノ順序ニヨリ行フ

- イ、視察官首座ノ挨拶
- ロ、部隊ヨリ提出意見ニ對スル説明及之ニ對スル質疑應答
- ハ、兵器ノ現状視察
- ニ、視察結果ニ基ク指導及所見開陳

第十六師團諸部隊兵器現狀視察計畫表

1748

考	備	日	次	視察區分		視察官編成		
		月	日	午	後	首座	備要	
		九月	九月二十日	水	前	後	首座 大佐 大佐 佐官 二 佐(尉)官 一 尉官 一	備要
		2	21日	木	師團全般狀況聴取 各部隊ト打合 申告		打合ハセ等ハ 旅館ニテ行フ	
		3	22日	金	歩兵第九聯隊		打合ハセハ旅 館ニテ行フ	
		4	23日	土	旅行及打合		打合ハセハ旅 館ニテ行フ	
		5	24日	日	歩兵第三十八聯隊		午前ノ分ハ兵 器部ニ於テ行 フ	
		6	25日	月	視察以外各隊提出 意見ニ對スル説明 應答			
		7	26日	火	兵器部			
		8	27日	水	野砲兵第二十二聯隊			
		9	28日	木	ハ旅行及打合ハセヲ示ス			

一、ハ旅行及打合ハセヲ示ス
 二、本表ノ外視察官助手トシテ判任官一名隨行セシム
 三、本視察部隊以外ノ部隊ヨリノ提出意見等ニ對シテハ九月二十五日午前兵器部ニ於テ説明應答ヲ行フ

1749

陸軍技術本部
昭和十四年九月七日

陸技本甲第五七二號

第十六師團諸部隊兵器現狀視察實施計畫ニ關スル件報告

昭和十四年九月七日

陸軍技術本部長 多田禮吉

陸軍大臣 畑俊六 殿

九月六日陸普第五六四七號ヲ以テ達セラレタル首題兵器現狀視察ハ別冊計畫ニ依リ當部大村大佐ヲシテ實施セシムヘキニ付報告ス

武 第 二 六 二 五

和昭 14.9.8. 午前

陸軍省 14.9.8. 甲

軍

東京 助川納

貳 2625

第十六師團諸部隊兵器現狀視察計畫

第一 視察ノ目的

九月 六 日陸普第五六四七號通牒ニ基キ第十六師團諸部隊ノ内地歸還後復舊整理前ニ於ケル兵器ノ現狀ヲ視察シテ應急復舊ニ對スル資料ヲ得ルト共ニ今次事變ノ兵器ニ及セル影響ト實績トヲ探究研討シテ制式、製造、採用檢査及取扱保存ノ關係事項等ノ改善殊ニ一層之カ戰時化ニ要スル資料ヲ蒐集シ且取扱保存ニ關シ所要ノ指導ヲ行ヒ以テ兵器整備ノ適正ト之カ取扱保存ノ向上トヲ期スルヲ目的トス

第二 主要視察事項

概ネ左ノ各項ニ付實施シ又ハ意見ヲ交換シ視察目的ノ達成ニ努ム
一 視察兵器ハ左ノ通トス

1. 各部隊 草具、麻製品、輜重車輛

歩兵隊 右ノ外輕、重機關銃（屬品及豫備品共）及小銃

但シ小銃ハ廢品ト區分セルモノノミニ就キ視察ス

砲兵隊 第一項ノ外野砲及十榴（屬品及豫備品共）

兵器部 第一項ノ外彈藥ノ一部

2. 其ノ他ノ兵器ニ就テハ特ニ部隊希望アルモノノ外視察セス

兵器ノ應急復舊ニ即スル處置ニ必要ノ件ヲ指示ス

實戰ノ經驗ニ徴シ兵器制式ノ改正ノ要否ヲ調査シ之カ改修正ニ關ス

ル資料ヲ蒐集ス

兵器ノ製造、修理及採用検査ノ適否ヲ研討シ之カ改善ニ關スル資料

ヲ蒐集ス

兵器ノ現狀ニ基キ取扱保存ノ向上進歩ヲ促ス爲所要ノ指導ヲ行フ

兵器取扱保存ニ關スル諸規定ノ改善特ニ一層之カ戰時化スルノ資料

ヲ蒐集ス

兵器取扱保存指導ニ必要トスル資料ヲ蒐集シ且將來之カ實施ヲ一層

適切有效ナラシムル方策ノ研究ニ資ス

ハ教育資材ノ整備ヲシテ部隊ノ情況ニ即應セシムル爲ノ調査ヲ行フ

ニ代用品又ハ規格變更品ノ適否及命數等ヲ判断シ今後ノ對策ニ資シ又
之カ取扱保存ニ關シ特ニ必要トスル處置ノ要否ヲ調査シ且其ノ方策
立案ニ必要ナル資料ヲ蒐集ス

第三 視察實施部隊及期日

附表第一ノ如シ

第四 編成及視察擔任區分

附表第二ノ如シ

第五 實施

一 實施ノ要領

概ネ左ノ要領ニ依リ實施ス

妻 伊藤 さく の

1. 應急復舊ニ關シテハ兵器ノ現状ニ基キ主トシテ動員用ニ充當シ得
ヘキ程度ノ資料ヲ蒐集スルト共ニ動員兵器ノ程度低下防止ノ爲必
要トスル處置ニ付意見ヲ述フ

2. 今次事變ノ兵器ニ及セル影響ト實績トニ關スル探究研討ハ主トシ
テ兵器ノ現状及各部隊ノ意見ニ基キ實施ス

3. 兵器取扱保存ニ關スル指導ハ兵器ノ現状及各部隊ノ意見ニ基キ
所要ノ指導ヲ行ヒ又ハ意見ヲ述フ

4. 教育資材ノ整備ニ關シテハ主トシテ各部隊ノ意見ヲ徵集ス

ニ各部隊ノ準備

視察各部隊ハ左ノ各項ニ付豫メ準備シ置クモノトス

1. 前號要領ニ基キ兵器ニ關スル各種ノ意見ヲ事ノ大小ヲ問ハス努メ
テ蒐集提出ス

但シ視察セサル部隊ニ於テモ兵器ニ關スル意見ハ成ルヘク多數提
出スルコト

2. 配列スヘキ兵器ハ前述第二ニ述ヘタルモノノミトシ視察ニ便ナル如ク程度區分ニ依リ標識ヲ確實ニ附シテ配列ヲ希望ス
 彈藥ハ彈藥庫内ニ於テ視察ス 但シ代用品若クハ規格變更品ヲ使用セルモノハ右以外ノ兵器ニ於テモ代表的ニ數個宛配列シ置クモノトス

尙所要ニ應シ視察官ニ於テ別ニ視察スヘキ兵器ニ關シ要求スルコトアルヘシ

3. 左ノ書類ヲ準備シ九月十日迄ニ技術本部ニ到着スル如ク提出スルモノトス

但シ(イ)、ノモノハ前日打合セノ際一部提出(ロ)ハ六部其ノ他ハ各一五部トス

(イ) 復舊ニ關スル諸調書(視察終了後直チニ返却ス)

(ロ) 復舊兵器種別區分要領(應急復舊ノ兵器程度區分ニ關シ師團ヨリ各隊ニ指示セルモノトシ兵器部ノミ提出)

附表第一

兵器現狀視察部隊及期日一覽表

月 日 曜	視 察 部 隊		摘 要
	午 前	午 後	
九月二十日 水			
" 二十一日 木			午前師團所在各部隊ニ對スル打合せ及師團全般狀況ニ關スル兵器部員ヨリノ狀況報告ヲ受ク
" 二十二日 金			午前旅行及部隊トノ打合せヲ行フ
" 二十三日 土			
" 二十四日 日			
" 二十五日 月			午前視察以外ノ各部隊提出意見等ニ對スル説明應答ヲ兵器部ニ於テ行フ
" 二十六日 火			
" 二十七日 水			
" 二十八日 木			

備

考

表中  ハ旅行及打合せヲ示ス

視察時間ハ概ネ八時三十分(午後開始ノ分ハ十三時)ヨリ十七時迄ト豫定ス

本豫定ハ都合ニ依リ多少變更スルコトアルベシ

附表第三

兵器現狀視察進捗豫定表

順序	區分	兵器現狀視察進捗豫定表	
		摘	要
一	視察官首座ノ挨拶	開始ニ先タチ視察官首座ヨリ視察目的其ノ他ニ關シ説明シ挨拶ト爲ス	
二	各部隊ニ於ケル兵器一般ノ現況ト實戰ノ經驗ニ基ク一般所見ニ關スル説明	<ul style="list-style-type: none"> 一 説明ハ隊長(又ハ兵器委員首座)之ヲ行フ 二 本説明ニハ特ニ左ノ事項ヲ含マシムルモノトス 1. 應急復舊一般ノ現況ト之ニ必要トスル主ナル處置 2. 實戰ノ經驗ニ基ク兵器ニ對スル信頼ノ程度 3. 兵器故障等ノ爲必勝ノ信念ニ及シタル影響 4. 戰場ニ於テ兵器尊重心ヲ旺盛ナラシムル爲採リタル手段等 5. 戰場ニ於ケル兵器手入保存ノ實相等 	<ul style="list-style-type: none"> 一 説明ハ關係將校之ヲ行フ 二 本説明ハ前述第五ノ二ニ記セル各提出書類ニ付行フ外其ノ他ノ意見ヲモ成ルヘク多數開陳スルモノトス 三 右ニヨリ提出書類ニナキ意見ハ要スレハ要點ヲ印刷シ提出セラレ度 四 關係將校出席ノコト
三	各部隊ヨリ提出意見ニ對スル説明及之ニ對スル質疑應答		<ul style="list-style-type: none"> 一 説明ハ關係將校之ヲ行フ 二 本説明ハ前述第五ノ二ニ記セル各提出書類ニ付行フ外其ノ他ノ意見ヲモ成ルヘク多數開陳スルモノトス 三 右ニヨリ提出書類ニナキ意見ハ要スレハ要點ヲ印刷シ提出セラレ度 四 關係將校出席ノコト
四	兵器ノ現狀實視		<ul style="list-style-type: none"> 一 附表第二ノ區分ニ基キ各視察官ニ於テ實施ス 二 關係將校下士官ハ立會スルモノトス 三 實施ノ細部ニ就テハ實施前打合せヲ行フ
五	<ul style="list-style-type: none"> 1. 實施結果ニ基ク指示又ハ指導 2. 意見ノ交換 3. 質疑應答 	<ul style="list-style-type: none"> 一 應急復舊ニ關シ必要ナル件ヲ指示ス 二 兵器取扱保存ニ關スル必要ナル指導ヲ行フ 三 兵器ニ關スル意見ノ交換又ハ質疑應答ヲ實施ス 四 成ルヘク多數ノ將校ノ出席ヲ希望ス 	
六	所見開陳		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 一 時間ノ配當其ノ他細部ニ關シテハ實施前打合せヲ行ヒ決定ス 二 兵器部ニ在リテハ本豫定ニ準シ實施ス 特ニ師團全般ノ主要戰歴ノ概要、現地修理班等ノ修理ヲ受ケタル狀況(回数、兵器品目等)及兵器並部品材料等ノ補給狀況等ヲモ九月十九日打合せノ際説明ヲセラレ度 		

094T

式
第ニ六三五
其二

現品別送

陸技本甲第六七〇號

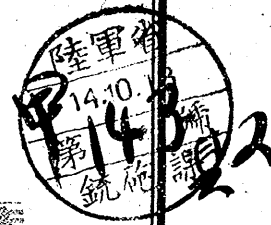
第十六師團證部陸兵器現狀視察實施報告

昭和十四年十月十二日

陸軍技術本部長 多田禮

陸軍大臣 畑 俊 六 殿

昭和十四年九月六日陸普第五六四七號通牒ニ基キ實施セル首題兵器
現狀視察ノ成績別冊ノ通報告ス



陸軍

10 別冊
25

東京 助川 納

2625